



社会福祉法人 恩賜財団 済生会

福岡県済生会福岡総合病院

看護師特定行為研修

第6期生 募集要項

(令和7年4月開講)

令和6年11月

研修概要

I. 当院における特定行為研修の教育理念

当院は、「地域社会の皆様や先生方に信頼され、真の満足をしていただける病院作り」という理念のもと、三次救急施設として救命救急センターの運営、地域医療支援病院としての医療連携強化、地域がん診療連携拠点病院としてがん診療体制の整備などに努めています。

特定行為研修は、チーム医療のキーパーソンである看護師が、患者及び国民、そして医師やその他の医療関係者から期待される役割を十分に担うために、医療安全に配慮し、在宅を含む医療現場において、高度な臨床実践能力を発揮できることを目的としています。看護の視点を大事にし、各職種のタスクシェアリング、チーム医療の要となるとともに、より安全で患者・家族の視点に立った医療を提供できる看護師を育成します。

II. 教育目標

- 1) 高度医療や地域医療の場において、特定行為に必要な臨床判断を包括的にできる知識・技術・態度を養う。
- 2) 特定行為を適切なタイミングで倫理的かつ安全に行える知識・技術・態度を養う。
- 3) 多職種の専門性を尊重し、チームが円滑に働くよう支援できる知識・技術・態度を養う。
- 4) 医学的視点だけでなく看護学的視点を融合した全人的な看護が展開できる。

III. 研修の特色

当院の理念である「救急医療の充実及び高度専門医療の推進」、「地域医療連携の強化」という役割のもと令和2年度より開講しました。

さらに令和5年度より、当院独自の「基本モデル」に加え、「術中麻酔管理領域」、「救急領域」、「集中治療領域」の3つの領域パッケージを導入し、より臨床で活用しやすいものを選択できるようになりました。また当院のカリキュラムは、基本モデルに必要な区分を追加すること、特定行為研修修了者が新たに区分のみを受講することが可能であり、受講者の目的に沿って柔軟に対応することができます。

IV. 研修期間（予定）

令和7年4月7日～令和8年3月23日

令和7年4月7日：開講式

4月～8月：共通科目（e-learningでの自己学習および2～4日/月の集合研修*）

9月～12月：区分別科目（e-learningでの自己学習および集合研修）

※選択している区分によって日程が異なります

12月17日～令和8年2月16日：臨地実習

3月23日：閉講式

*集合研修の演習・実習は、基本的に9:00~16:40を予定しています。

V. 研修内容

1) 共通科目（講義：e-learning、演習・実習・筆記試験：集合研修）

科目名	研修方法：時間	時間数
臨床病態生理学	講義：27、演習：2、筆記試験：1	30
臨床推論	講義：35、演習：10、実習：1、筆記試験：1	47
フィジカルアセスメント	講義：39、演習：4、実習：6、筆記試験：1	50
臨床薬理学	講義：35、演習：9、筆記試験：1	45
疾病・臨床病態概論	講義：34、演習：4、筆記試験：2	40
医療安全学／特定行為実践	講義：22、演習：13、実習：9、筆記試験：1	45
計	講義：192、演習：42、実習：20、筆記試験：7	257

2) 特定行為区分別科目（講義：e-learning、演習・実習・筆記試験・OSCE：集合研修）

	科目名	特定行為名	研修方法：時間	時間数
1	呼吸器(気道確保に係るもの)関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	講義：9 実習：2 筆記試験：1 OSCE：1	13
2	呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更 非侵襲的陽圧換気の設定の変更 人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整 人工呼吸器からの離脱	講義：21 演習：8 実習：1 筆記試験：2	32
3	呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連	気管カニューレの交換	講義：8 実習：2 筆記試験：1 OSCE：1	12
4	循環器関連	一時的ペースメーカーの操作及び管理 (パッケージ内1行為のみ)	講義：7 演習：1 実習：1 筆記試験：1	10
5	腹腔ドレーン管理関連	腹腔ドレーンの抜去(腹腔内に留置された穿刺針の抜針を含む。)	講義：8 実習：2 筆記試験：1	11

6	栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連	中心静脈カテーテルの抜去	講義： 7 演習： 1 実習： 1 筆記試験： 1	10
7	栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連	末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入	講義： 8 実習： 2 筆記試験： 1 OSCE： 1	12
8	創傷管理関連	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去 創傷に対する陰圧閉鎖療法	講義： 34 実習： 3 筆記試験： 1 OSCE： 1	39
9	動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血 橈骨動脈ラインの確保	講義： 13 実習： 2 筆記試験： 1 OSCE： 1	17
10	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 脱水症状に対する輸液による補正	講義： 14 演習： 2 筆記試験： 1	17
11	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	インスリンの投与量の調整	講義： 13 演習： 3 筆記試験： 1	17
12	術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与量調整	講義： 7 演習： 1 筆記試験： 1	9
13	循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中のカテコラミンの投与量 持続点滴中の Na、K、Cl の投与量の調整 持続点滴中の降圧剤の投与量の調整 持続点滴中の糖液輸液又は電解質輸液の投与量の調整 持続点滴中の利尿剤の投与量の調整	講義： 23 演習： 5 筆記試験： 2	30
14	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	抗けいれん剤の臨時的投与 抗精神病薬の臨時的投与 抗不安薬の臨時的投与	講義： 32 演習： 4 筆記試験： 1	33

VI. 臨地実習について

区分別科目の臨地実習は原則自施設で行うため、受講者の所属施設は指定研修機関（当院）の協力施設となっていただきます。協力施設の要件は以下のとおりです。自施設実習が困難と予測される場合は、あらかじめご相談ください。

- 1) 指導者と連携し、研修目標が達成できるように管理する責任者および事務手続きのための事務担当者を配置できること
 責任者の主な役割：実習中の安全管理体制の整備、実習場所・実習時間の調整
 事務担当者の主な役割：協力施設としての提出書類の作成
- 2) 実習期間中（約 2 ヶ月間）で特定行為 1 行為につき 5 症例以上の経験ができること
- 3) 「臨床研修指導医である医師」または「7年以上の臨床経験を有し、かつ医学教育・医師臨床研修における指導経験 4 年以上を有する医師」の協力が得られること

VII. 開講する特定行為区分と定員

- 1) 基本モデル（*共通科目の受講は必須）

特定行為区分	特定行為	募集定員
① 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	10 名
	脱水症状に対する輸液による補正	

- 2) 術中麻酔管理領域パッケージ 以下 8 行為（*共通科目の受講は必須）

特定行為区分	特定行為	募集定員
① 呼吸器(気道確保に係るもの)関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	4 名
② 呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更	
	人工呼吸器からの離脱	
③ 動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血	
	橈骨動脈ラインの確保	
④ 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	脱水症状に対する輸液による補正	
⑤ 術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与量調整	
⑥ 循環動態に係る薬剤投与関連	糖質輸液又は電解質輸液の投与量調整	

- 3) 救急領域パッケージ 以下 9 行為（*共通科目の受講は必須）

特定行為区分	特定行為	募集定員
① 呼吸器(気道確保に係るもの)関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	4 名

② 呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更	
	非侵襲的陽圧換気の設定の変更	
	人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整	
	人工呼吸器からの離脱	
③ 動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血 橈骨動脈ラインの確保	
④ 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	脱水症状に対する輸液による補正	
⑤ 精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	抗けいれん剤の臨時的投与	

4) 集中治療領域パッケージ 以下 10 行為 (*共通科目の受講は必須)

特定行為区分	特定行為	募集定員
① 呼吸器(気道確保に係るもの)関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	4 名
② 呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更	
	人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整	
	人工呼吸器からの離脱	
③ 循環器関連	一時的ペースメーカーの操作及び管理	
④ 栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連	中心静脈カテーテルの抜去	
⑤ 動脈血液ガス分析関連	橈骨動脈ラインの確保	
⑥ 循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中のカテコラミンの投与量	
	持続点滴中の Na、K、Cl の投与量の調整	
	持続点滴中の降圧剤の投与量の調整	

5) 追加オプション

「基本モデルに追加する方」・「すでに共通科目履修を修了しており、区分別科目のみを追加受講する方」は下記 11 区分より選択受講が可能です。なお、領域別パッケージ受講者は、同年の追加区分取得は基本的には不可とします(要相談)。下記に記載している募集定員は、基本モデル及びパッケージ受講者を含めており、定員はモデル・パッケージ受講者を優先させていただきます。

特定行為区分	特定行為	募集定員
① 呼吸器(気道確保に係るもの)関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	14 名

② 呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更	14名
	非侵襲的陽圧換気の設定の変更	
	人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静剤の投与量の調整	
	人工呼吸器からの離脱	
③ 呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連	気管カニューレ交換	8名
④ 腹腔ドレーン管理関連	腹腔ドレーンの抜去(腹腔内に留置された穿刺針の抜針を含む。)	6名
⑤ 栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連	中心静脈カテーテルの抜去	8名
⑥ 栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連	末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入	5名
⑦ 創傷管理関連	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	4名
	創傷に対する陰圧閉鎖療法	
⑧ 動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血	14名
	橈骨動脈ラインの確保	
⑨ 血糖コントロールに係る薬剤投与関連	インスリンの投与量の調整	6名
⑩ 術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与量調整	4名
⑪ 精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	抗けいれん剤の臨時の投与	6名
	抗精神病薬の臨時の投与	
	抗不安薬の臨時の投与	

募集要項

I. 受講資格

次に定める要件をすべて満たしていることが必要です。

- 1) 日本国内における看護師免許を有すること
- 2) 受講申請時点で認定看護師資格を有するもしくは看護師資格取得後、実務経験を5年以上有すること
- 3) 原則、所属施設において特定行為の実践について協力が得られ、所属長の推薦があること
- 4) 心身共に健康で研修修了後も特定行為実践を通して、医療の発展と地域医療に貢献する意欲があること

II. 出願手続き

1) 受講申請書類一式

- ① 特定行為研修受講申請書（様式1）
- ② 推薦書（様式2）
- ③ 履歴書（様式3）
- ④ 看護師免許証の写し（A4サイズ）
- ⑤ 認定看護師認定証の写し（資格を有している方のみ）
- ⑥（特定行為区分別科目のみの受講を希望している方）履修科目免除申請書（様式4）
- ⑦（特定行為区分別科目のみの受講を希望している方）特定行為研修修了証の写し
※現在受講中で当院での研修開始までに修了予定の方は修了見込み証

※提出された書類は返却いたしません。

※様式1～4はホームページからダウンロードできます。

※当院で特定行為研修の共通科目を受講した方が区分別科目の追加受講を希望される場合は、受講申請書類の一部を省略できますのでお問い合わせください。

2) 提出方法

受講申請書類一式を下記までご提出ください。（院内応募者は当部署へ持参）

〒810-0001

福岡市中央区天神 1-3-46 済生会福岡総合病院 総務課 宛

※朱書きで「特定行為研修受講申請書類 在中」とお書きください。

3) 提出期間

令和6年12月2日（月）～令和6年12月27日（金）

※郵送の場合は当日消印有効

Ⅲ. 審査料納付方法

- 1) 審査料 5,500 円
- 2) 納付期間 令和 6 年 12 月 2 日 (月) ~ 令和 6 年 12 月 26 日 (木)
- 3) 振込先

金融機関名：福岡銀行	支店名：県庁内支店
預金種目：普通	口座番号：601850
口座名義：福岡県済生会福岡総合病院	

4) 注意事項

- ① 振込依頼名はカタカナで、氏名の前に” トクテイ” とご入力ください。
(例) トクテイ サイセイタロウ
- ② 振込手数料は受験者負担となります。
- ③ 既納の審査料は返還いたしません。
- ④ 銀行で発行される利用明細書をもって領収書といたします。

Ⅳ. 選考方法およびスケジュール

1) 一次審査…書類審査

一次審査の結果は、1 月中旬ごろメールにて通知いたします。

2) 二次審査…面接 (審査日 : 令和 7 年 2 月 12 日 (水) PM 予定)

事前に小論文をご提出いただきます。詳細は一次審査の結果時にお知らせいたします。
可否結果は、2 月下旬ごろ郵送にて通知いたします。

Ⅴ. 受講手続きについて

受講決定者には、可否結果発送時に受講手続きについての詳細をご案内いたします。
なお、受講にあたっては、日本看護協会看護師賠償責任保険に加入していただきます。

Ⅵ. 受講料について (税込)

<基本モデル> 323,000 円

<術中麻酔管理パッケージ> 545,000 円

<救急領域パッケージ> 572,500 円

<集中領域パッケージ> 565,000 円

<特定行為区分のみの受講> 1 区分あたり 1~2 行為 : 44,000 円 3~5 行為 : 77,000 円
(※OSCE があるものは+11,000 円)

◆厚生労働省教育に関する助成金について

基本モデルは以下の助成金の対象となっています。手続きなど詳細については厚生労働省ホームページをご参照ください。

教育訓練給付制度（一般教育訓練）

研修が修了した場合、研修生本人が支払った教育訓練経費の20%相当額（上限10万円）が給付される制度

試験会場案内

○所在地

福岡県済生会福岡総合病院（〒810-0001 福岡市中央区天神 1-3-46）

○公共交通機関でのアクセス

西鉄大牟田線「福岡(天神)」駅下車 徒歩約5分

地下鉄空港線「天神」駅下車 徒歩約5分

地下鉄七隈線「天神南」駅下車 徒歩約1分



問い合わせ先

済生会福岡総合病院 特定行為看護師 三山
総務課 宮崎

電話 092-771-8151 / mail tokutei@saiseikai-hp.chuo.fukuoka.jp